

公益社団法人 静岡県看護協会
令和6年度糖尿病重症化予防フットケア研修 開催要項

- 1 目的 糖尿病の治療や看護に関する最新の知識と、セルフコントロールに向けた援助の実践を学ぶ。フットケアが必要な対象を理解し、専門的な援助技術を習得する。
- 2 目標
 - 1) 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する。
 - 2) 糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する。
 - 3) 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ。
 - 4) 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ。
 - 5) 糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する。
 - 6) 予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる。
- 3 実施機関 主催 公益社団法人静岡県看護協会
共催 一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
- 4 開催期間 3日間；令和7年2月3日(月)・6日(木)・12日(水) 9:30～17:00 (予定)
- 5 研修時間 16時間(休憩等除く)
- 6 開催場所 公益社団法人静岡県看護協会 会館
- 7 定員 40名
- 8 受講要件
 - 1) 糖尿病足病変の看護に従事した経験を5年以上(令和7年2月1日時点)有する保・助・看(准看護師は除く)
* 複数施設での従事経験年数の合算可
 - 2) 所属長(施設長または看護管理者)の推薦がある者
 - 3) 本研修終了後、その業務に携わる予定の者
 - 4) 3日間すべてのプログラムに参加できる者(遅刻・早退不可)
- 9 受講料 静岡県看護協会員 22,000円(税込) 非協会員 33,000円(税込)
- 10 応募方法
静岡県看護協会ホームページから申込書・必要書類をダウンロードしてください。
必要書類①②③を静岡県看護協会 教育研修部へ郵送で提出してください。(期日厳守)
① 令和6年度糖尿病重症化予防フットケア研修申込書
② 施設長または看護管理者による推薦書
③ 従事証明書
現在の所属施設での糖尿病足病変患者の看護従事経験が5年に満たない方は過去に在籍した施設より従事証明書を取得してご提出ください。
尚、従事証明書のみでの応募はできません。推薦書と併せてご提出ください。
* 糖尿病重症化予防フットケア研修 推薦書在中と封筒表面にご記入ください。
- 11 募集期間 10月1日(火)～10月10日(木)【消印有効】
- 12 受講決定 応募者多数の際は選考となります。また、書類不備の場合は受講不可となる場合があります。
- 13 修了証 全日程受講した者には「修了証」を発行します。遅刻・早退者には発行しません。
- 14 注意事項 本研修は、社会保険診療報酬「糖尿病合併症管理料」算定要件内の「糖尿病の足病変の指導に係る適切な研修」に相当する。但し、算定要件の一つであり、その全てを満たすものではありません。
- 15 持参物 各自1セット準備してください。(資料1参照)
・テキスト：日本糖尿病教育・看護学会編、糖尿病看護フットケア技術第4版、日本看護協会出版会、2024
・物 品：資料1参照
①ニッパー：刃は真っ直ぐな方が扱いやすい ②爪用ゾンデ ③レデューサー
④やすり；ガラスまたはステンレス、可能であれば長さ15cm前後 ⑤C-128Hz 音叉
⑥打腱器；バビンスキー式 ⑦モノフィラメント；5.07 単品でも可
- 16 その他
 - 1) 演習のため、爪は切らずに伸ばしておいてください。
 - 2) 足のマニキュアはしないでください。
 - 3) 服装は軽装で、ズボンの着用をお願いします。(パンスト不可)
 - 4) 髪の毛の長い人は束ねられるようにしてください。
- 17 問合せ 公益社団法人 静岡県看護協会 教育研修部
〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号 エスパティオ3階 TEL 054-202-1760

静岡県看護協会主催 令和6年度糖尿病重症化予防フットケア研修 プログラム

- 1 主催 公益社団法人静岡県看護協会 共催 一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
- 2 日程 3日間；令和7年2月3日（月）9：30～16：30・2月6日（木）9：30～17：00・2月12日（水）9：30～16：00
【研修時間】16時間
- 3 場所 静岡県看護協会会館
- 4 目的 糖尿病の治療や看護に関する最新の知識と、セルフコントロールに向けた援助の実践を学ぶ。
フットケアが必要な対象を理解し、専門的な援助技術を習得する。
- 5 目標
 1. 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する
 2. 糖尿病患者への足病変の病態生理、治療を理解する
 3. 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ
 4. 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ
 5. 糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する
 6. 予防的フットケア実施するためのシステム構築について考えることができる
- 6 研修プログラム；日本糖尿病教育・看護学会；糖尿病重症化予防（フットケア）研修プログラム Ver.5 を改編して作成
テキスト：日本糖尿病教育・看護学会編集, 糖尿病看護フットケア技術 第4版, 日本看護協会出版会, 2023.
講師
 - 1) 講義1.3.4.5および演習；慢性疾患看護専門看護師または糖尿病看護認定看護師
 - 2) 講義2：糖尿病治療および糖尿病足病変の診療に従事した経験を5年以上有する医師（糖尿病専門医）
 - 3) 講義6：日本糖尿病教育・看護学会理事または理事相当
 ＊スケジュールは講師の都合等により調整する場合があります（総研修時間数は変わりません）

研修日	講義 演習	時間	研修 時間数	テーマ	ねらい	内容
1日目						
令和7年 2月3日 (月)		9：30～9：40		オリエンテーション		
	講義 1	9：40～10：40	60	糖尿病患者の療養を支えるフットケア	看護師が行う糖尿病患者への予防的フットケアは、一方的に患者の足のトラブルの有無をチェックし、必要な手当てを提供するというのではない。患者の糖尿病や足の状態をとらえるとともに、セルフケア状況までを含めた評価（アセスメント）を行ったうえで、その患者に適したフットケアの方法を考え、継続的に実践していくセルフケア支援のプロセスである。このような糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する	1. 糖尿病患者への足への関心 2. 足の状態を共通理解するための働きかけ： 足を見る、足に触れるということ 足を見るのを促す、足に触れるのを促すということ 3. 足のケアを通して患者の生活を理解すること 4. 療養を支えるフットケア～継続していく大切さ 5. チーム医療における看護師が行うフットケアの意味
	休憩	10：40～10：50				
	講義 2	10：50～13：00 休憩10分含む	120	糖尿病患者の足病変～病態生理から治療まで	糖尿病患者の足病変、病態生理、治療、検査について理解する	1. 糖尿病足病変の病態生理 2. 糖尿病神経障害の検査 3. 血流障害の検査 4. 糖尿病足病変の治療
	昼休	13：00～13：50				
	講義 3	13：50～15：20	90	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①	糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況を理解し、患者の足の状態と取り巻く状況を含めてリスクをアセスメントできる	1. アセスメントとは 2. 記録用紙の使い方と意味 3. 糖尿病患者のハイリスク評価 4. 足の状態を捉える皮膚の状態、神経障害、血流障害、生活状況 5. 全身状態を捉える姿勢、歩き方、高血糖、低栄養、免疫力 6. セルフケア状況の把握足への関心 フットケアに対する理解 足の問題に関する経験生活習慣 サポートパーソン 7. 生活状況を捉える足への負荷の状況-仕事 靴の選択 清潔習慣
	休憩	15：20～15：30				
	講義 6	15：30～16：30	60	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題を理解し、予防的フットケアを実践するためのチーム及びシステム作りを考える	1. 平成20年度診療報酬における糖尿病重症化予防（フットケア）の位置づけ 2. 予防的フットケアを実践するためのチーム医療およびシステム作り

研修日	講義 演習	時間	研修 時間数	テーマ	ねらい	内容
2 日目						
2 月 6 日 (木)	講義 4	9 : 30～10 : 00	30	糖尿病患者のフット ケアのためのアセス メント②	アセスメントの統合と足病変リス ク評価に伴う課題抽出過程を理解 する	アセスメントの統合足病変のリスク評価 課題の抽出過程の解説
	演習 1	10 : 00～11 : 50 休憩 10 分含む	100	糖尿病患者のフット ケアのためのアセス メント	糖尿病患者へのフットケアにおけ る足の状態のアセスメントおよ び、足病変のリスク評価の技術を 学ぶ	1. デモンストレーション (研修担当) 2. 参加者がペアになり演習 ・姿勢、歩き方、足の外観を捉える、知 覚および血流の状態、靴や靴下の観察 ・生活状況、足の手入れの状況の確認 ・フットケア記録用紙の活用 ・足の状態をアセスメントする ・足病変のリスクを評価する
	昼休	11 : 50～12 : 40				
	講義 5	12 : 40～14 : 30 休憩 10 分含む	100	フットケアの実際～ 予防のためのセルフ ケア支援	糖尿病患者の置かれている状況や リスクの評価を基に、その患者に 適したフットケアの実践ができ、 セルフケア支援につなげることが できる	1. 予防のための方法清潔を保つ 乾燥 を防ぐ 感染を防ぐ 蒸れを防ぐ 圧 迫、ずれを避ける 2. セルフケア支援のためのポイント
	休憩	14 : 30～14 : 40				
	演習 3	14 : 40～17 : 00 休憩 10 分含む	130	フットケアの実際～ 予防のためのセルフ ケア支援	糖尿病患者のフットケアの予防の ためのセルフケア支援技術を経験 し、身につける	1. デモンストレーション (研修担当) (1) 患者の足を見る、触れる (2) アセスメントをする (3) 必要なケア内容を検討する (4) 処置を行う ①ゾンデの使用法 ②ニッパー、ヤスリによる爪のケア ③コーンカッターの使用法 ④レデューサーの使用法 ⑤保湿 (5) セルフケアに向けての支援 2. 参加者がペアになり演習
3 日目						
2 月 12 日 (水)		9 : 30～9 : 35	5	オリエンテーション		
	演習 2	9 : 35～9 : 45	10	事例分析と評価①	事例を展開し、フットケア計画の 立案につなげることができる	事例の説明
	演習 4	9 : 45～11 : 35 休憩 10 分	100	事例分析と評価②- アセスメントと問題 点の抽出	足病変のハイリスク状態にある糖 尿病患者の事例を通してフットケ ア計画を立案する-アセスメント から問題点の抽出ができる	事例検討 (グループディスカッションと 全体討議)
	昼休	11 : 35～12 : 25				
	演習 5	12 : 25～14 : 35 休憩 10 分含む	120	事例分析と評価③- ケア計画立案	足病変のハイリスク状態にある糖 尿病患者の事例を通してフットケ ア計画を立案する～看護問題から 課題と具体的なフットケア方法を 立案する	事例検討 (グループディスカッションと 全体討議)
	休憩	14 : 35～14 : 45				
	演習 6	14 : 45～15 : 25	40	演習 6 まとめ 今後の糖尿 病重症化予防 (フッ トケア) の活動に向 けて	自施設において、フットケアを実 践するための方法を考える	自施設における、今後のフットケア活動 計画を立てる
		15 : 25～15 : 45		まとめ		
		15 : 45～16 : 00		修了		

研修時間数 960 分/16 時間 (休憩除く)

令和6年度 教育研修
糖尿病重症化予防フットケア研修
申 込 書

公益社団法人 静岡県看護協会

ふりがな									
氏 名									
施 設 名									
施設住所	〒								
施設電話番号									
種 職	保健師 ・ 助産師 ・ 看護師（准看護師は除く）								
実務経験	年								
糖尿病足病変の看護の 従事期間	年								
職 位	スタッフ ・ 主任職相当 ・ 師長職相当 ・ 他（ ）								
静岡県看護協会 会員番号（6桁）	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
<u>静岡県看護協会非会員のみ</u> 看護師免許番号と発行日	免許番号								
	免許発行年月日	和暦	年 月 日						
糖尿病合併症管理料 算定の施設整備	整備されている ・ これから整備する								

糖尿病重症化予防フットケア研修

推 薦 書

(施設長または看護管理者による推薦)

令和 年 月 日

公益社団法人 静岡県看護協会御中

申込者氏名：

糖尿病足病変患者の看護に従事した期間：

和暦 年 月 ～ 和暦 年 月 （ 年 ヶ月）

上記の者は本施設の看護師であり、糖尿病足病変患者の看護に従事した経験を5年以上有しております。糖尿病重症化予防フットケア研修会への参加により、本施設の糖尿病患者の足病変に関する療養指導に従事する予定です。

以上のとおり、上記の者が糖尿病重症化予防フットケア研修を受ける要件を満たしていますので、ここに推薦いたします。

推薦者氏名（自署）： 印

所属機関：

職 位：

住 所：

連絡先電話番号：

糖尿病重症化予防フットケア研修

従 事 証 明 書

令和 年 月 日

公益社団法人静岡県看護協会御中

申込者氏名：

在籍期間：（和暦） 年 月 ～ 年 月

糖尿病足病変患者の看護に従事した期間：

（和暦） 年 月 ～ 年 月 （ 年 ヶ月）

上記の者は、当施設において糖尿病足病変患者の看護に従事した経験を有しています。

推薦者氏名（自署）： 印

所属機関：

職位：

住 所：

連絡先電話番号：

□テキスト

日本糖尿病教育・看護学会編, 糖尿病看護フットケア技術第4版, 日本看護協会出版会, 2024.

□物 品

- ①ニッパー ; 刃は、真っ直ぐな方が扱いやすい
- ②爪用ゾンデ
- ③レデューサー
- ④やすり ; ガラスまたはステンレス、可能であれば長さ 15 cm前後
- ⑤音叉 ; C-128Hz
- ⑥打腱器 ; バビンスキー式
- ⑦モノフィラメント ; 5.07 単品でも可

*すでに使用中のフットケア用品を持参いただいてもかまいません。

新たにフットケア用品をご購入する場合は、下記を参照ください。

*個人で持参していただく物品が多いのですが、こちらでは準備しておりません。

研修（演習）までに必ず各自で準備をお願いいたします。

 ①ニッパー *刃は、真っ直ぐな方が扱いやすいです	 ②爪用ゾンデ	
 ③レデューサー	 ④やすり (ガラスまたはステンレス) *可能であれば、長さ 15 cm前後	
 ⑤音叉 (C-128Hz)	 ⑥打腱器 (バビンスキー式)	 ⑦モノフィラメント (5.07 単品でも可)